

ぱるす 号外!

発行日 2006年 6月 14日

発行 札幌歯科医師会口腔医療センター

〒064-0807 札幌市中央区南7条西10丁目

TEL(011)512-9497 FAX(011)511-2272

<http://www.dnet.or.jp/center>

E-mail omc-s@dnet.or.jp

発行人 菊田 浩一 発行責任者 藤田 一雄

高橋はるみ北海道知事が 口腔医療センター訪問!!



5月11日(木)の午後、高橋知事が口腔医療センターを訪問致しました。知事が道内市町村を訪問し地域の人々と直接対話する「まちかど対話～こんにちはは知事です」の一貫として来所されたものです。



当日は、救急診療部診療室や障害者診療部の診療風景、摂食・嚥下リハビリテーションの様子をご覧になり、摂食外来では、親御さんの話に耳を傾け患者さんに優しく話掛けられていました。(写真1)

(写真1) 患者さんに優しく話しかけられる
高橋知事 (右)



(写真2)

診療室視察後には、『北海道の障がい者歯科医療について』をテーマに懇談会が行われ、札幌歯科医師会からは藤田会長、牧野障害者診療部長、藤原歯科衛生士長が出席しました。(写真2)

「まちかど対話」の趣旨に沿い、行政、保護者、福祉施設、そして歯科医療現場に直接携わる歯科医師と歯科衛生士の立場から、障がい者(児)歯科医療の現状と、北海道が取り組んでいくべき今後の方向性などについて活発な意見交換がされました。(写真3)



(写真3)



(写真4)



(写真5)

藤田会長からは、地域歯科医療に密着する郡市区歯会の立場から本会、センターの取り組みを述べられました。(写真4) 牧野部長は、障がい者歯科医療のキーポイントは、歯科医師が家族、施設、学校、行政と連携し、地域での生活を支えるという理念をもつことであると熱弁を振るわれました。

藤原士長からは、日頃からお口や歯の健康に関心をもち、家庭や施設で実践しておられるお母さん、お父さん、施設職員のみなさんの協力なしには障がい者(児)の歯の健康は守れない、との発言がありました。

保護者や障がい者団体の方から「センターがたいへん身近な存在であり、歯科医療の際の接遇が日常生活により影響を与えている」とのお話をいただきました。

高橋知事はセンターでの診療の様子や患者さんの状態が改善に向かっていく経過を撮影したビデオを熱心にご覧になり、障がい者(児)歯科医療現場の現状について理解を深められた様子でした。懇談会の終わりには、出席者へのねぎらいのことばと共に、北海道障害者歯科医療協力医制度の充実を更に図っていきたいとのコメントがありました。(写真5)

障害者診療部部長 牧野 秀樹

#####

編集後記

ぱるすではこれまでいろいろなお客様をお迎えしてまいりました。今回のゲストはなんと高橋はるみ知事でした。

これからもたくさんの方がお越しになるのをこの誌面でお待ちしております。ますますぱるすの波が大きく、遠くまで届くようになればと思っています。

ぱるす編集長 中澤 潤

#####